

50歳を過ぎたら気をつけたい 带状疱疹

带状疱疹には、予防するワクチンがあります



たいじょうほうしん

带状疱疹とは

带状疱疹は、水ぼうそう（水痘）と同じウイルスで起こる皮膚の病気です。身体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが带状疱疹の多数生じます。多くの場合、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、神経の損傷によってその後も痛みが続くこともあります。

加齢などによる免疫力の低下が原因で、50歳代から発症率が高くなり80歳までに3人に1人が発症するとされています。

带状疱疹発症のメカニズム

多くの人の子供のときに感染する水ぼうそう（水痘）のウイルスが原因です。水ぼうそうが治った後もウイルスは体内に潜伏しており、過労やストレスなどで免疫力が低下するとウイルスは再び活性化して带状疱疹を発症します。

日本人の成人の90%以上はこのウイルスを持っており、带状疱疹を発症する可能性があります。

発症しないために必要なこと

带状疱疹にかからないためには、食事のバランス・十分な睡眠など日ごろの体調管理が大切です。50歳以上の方は、ワクチン接種で予防することが可能です。

ワクチンについて

～当院では2種類のワクチンを扱っております～



| | 弱毒性水痘ワクチン「ピゲン」 | 带状疱疹ワクチン「シングリックス」 |
|---------|--|--|
| 価格（税込） | 1回 7,500円 | 2回 45,000円 |
| ワクチンの種類 | 生ワクチン | 不活化ワクチン |
| 接種回数 | 5年に1回接種 | 2回接種 |
| 接種対象者 | 1歳以上 | 50歳以上 |
| 接種制限 | 薬や既往歴での制限あり | 薬や既往歴での制限なし |
| 有効性 | 50%～60%（全年齢） | 9年は有効性あり 2回接種すれば ・50歳以上で97% ・70歳以上で90% |
| 接種方法 | 皮下注射 | 筋肉内注射 |
| 副反応 | 接種部位の痛み 腫れ、発赤 3日～1週間で消失 | 接種部位の痛み 腫れ、発赤、筋肉痛、全身倦怠感 多くは3日で消失 |
| 長所 | 1回で済む 値段が安い 年齢制限がない | 薬や病歴で接種制限がない 予防効果が高い 有効性の持続時間が長い （現状、追加接種は必要なし） |
| 短所 | 薬や病歴で接種制限がある 有効性の持続期間が短い （5年で有効性が半減） | 値段が高い 2回接種が必要 筋肉注射なので痛い 年齢制限あり（50歳～） |